

多治見市バリアフリー基本構想

総合的なバリアフリーの推進に関する進行管理票

令和7年3月

多治見市

総合的なバリアフリー化の推進に関する進行管理票

| 項目 | | 事業 | 具体的な取組み | 達成状況 | 令和6年度の実施状況 | 計画より遅れている場合の理由 | 担当課 |
|----------------|-----|---|--|-------|--|----------------|-------|
| 1 施設のバリアフリー | 1-1 | 歩行者の支障となる看板等の撤去を行います。 | ・違反広告物簡易除却 | 計画どおり | ・パトロール24回実施(のべ65人参加) ・26物件除却 ・歩行の支障となる広告物の発見なし(12月末現在) | | 都市政策課 |
| | 1-2 | 福祉環境整備指針を作成し、民間事業者への遵守を働きかけます。 | ・福祉環境整備指針のPR ・開発指導案件について事業者に対し福祉環境整備指針の遵守を依頼 | 計画どおり | ・開発指導案件について、事業者に対し福祉環境整備指針の遵守を依頼 ・事業者からの問い合わせに対し、担当課と連携し指導 | | 福祉課 |
| | 1-3 | 福祉環境整備指針を広く市民に周知します。 | ・HPやイベント(バリアフリー展)を活用した福祉環境整備指針のPR | 計画どおり | バリアフリー展(令和7年2月18日～3月3日まで)でPRを実施 | | 福祉課 |
| | 1-4 | 高齢者、障がい者等の生活の利便性、安全性を確保するため、市営住宅のバリアフリー化を順次行います。 | ・旭ヶ丘第2団地(中層)及び高根団地(中層)の各棟の1階の一部をバリアフリー住宅に改修 ・市営住宅団地内のバリアフリー改修 | 計画どおり | ・旭ヶ丘第2団地(中層)8棟811号、815号において、令和6年度内にバリアフリー改修工事完了 【工事内容】①室内段差解消、②ドアノブ取替(玉ハンドル→レバーハンドル)、③手摺取付(玄関、浴室、トイレ、洗面・脱衣所)、④浴室・台所の蛇口取替(シングルレバー混合水栓) | | 建築住宅課 |
| | 1-5 | 小学校、中学校のバリアフリー化を進めます。 | 笠原小中一貫教育校(義務教育学校)の建設 | 計画どおり | ■校舎解体、新校舎建設 ①建設工事の共同企業体(建築、電気、機械)と契約締結(7月) ②旧小学校校舎の解体(7月～12月) ③新校舎建設工事(12月～) ④幼保小中一貫教育研究会への経過報告(R6年度中3回開催) | | 教育総務課 |
| | 1-6 | 市の公共的施設の新設または改修に当たっては、原則として「公共的施設の福祉環境整備の基準」に適用させます。 | ・福祉環境整備の基準への適合を促進 | 計画どおり | ・かさはら福祉センターの特浴室の自動ドアを修繕し、施設出入りのバリアフリーを維持。 | | 福祉課 |
| | 1-7 | 障がい者への情報提供及び事業者のバリアフリー意識向上のため、バリアフリー適合証(バリアフリーマーク)を交付します。 | ・バリアフリー展においてバリアフリー適合証のPR ・市内の交付可能施設へのPR ・適合証設置施設のメリットを検討 | 計画どおり | ・バリアフリー展において、バリアフリー適合証の紹介パネルを展示 ・リフォームプレイス㈱が申請予定。更新申請されれば、現地調査し、バリアフリー推進協議会において、更新について付議する予定 ・市ホームページにてPRは引き続き実施中 | | 福祉課 |
| | 1-8 | 市本庁舎の建替えによりバリアフリー化を進めます。 | ・福祉環境整備指針に基づいた新本庁舎建設基本計画の策定及び、建設基本設計・建設実施設計の実施 | 計画どおり | ・新庁舎建設基本計画策定(令和6年10月) ・新庁舎建設設計プロポーザル実施(令和6年10月告示、令和7年2月契約予定基本設計及び実施設計を一括で発注) | | 総務課 |

総合的なバリアフリー化の推進に関する進行管理票

| 項目 | | 事業 | 具体的な取組み | 達成状況 | 令和6年度の実施状況 | 計画より遅れている 場合の理由 | 担当課 |
|-----------------------------|-----|---|---|-------|---|--------------------|-------|
| 2 交通、 移動手段の バリアフリー | 2-1 | コミュニティバスの利便性の向上に努めます。 | ・利用実態等を調査し、ルート・ダイヤ等の適正化に向けた検証及び修正の検討 ・車両の更新 | 計画どおり | ・宝町ルート及び坂上ルートにおいて、重複している運行経路の解消及び利便性の向上を目的にルート変更を検討中 | | 都市政策課 |
| | 2-2 | 路線バス等の公共交通の充実に努めます。 | ・実施事業の課題を抽出して、対応策について検討 ・市民に対する意識啓発等により、自動車から公共交通への利用転換を促進 | 計画どおり | ・運転免許証自主返納者への各種公共交通機関割引制度の周知や、路線バスの利用案内を広報4月号の折り込みにより全戸配布 ・10月から高齢者公共交通機関量促進助成事業(バスチケット65)を開始 チケット受取率(2/25現在):18.60%(6361人に配付) チケット使用率(1/31現在):28.11%(50,678枚使用) | | 都市政策課 |
| | 2-3 | 民間事業者(鉄道、バス、タクシー等)と協力し、障がい者の移動手段の確保に努めます。 | ・リフト付福祉タクシー及び福祉タクシーの利用状況の把握、情報共有 | 計画どおり | ・リフト付福祉タクシーは、(有)SKU等13事業所で実施。利用536件、うち助成428件と利用者増加(12月末現在) ・助成制度について、9月のサービスネットワーク会議(高齢福祉課所管)で周知実施 ・「ケアマネさんのおたすけ便利帳」(高齢福祉課所管)の改訂及び掲載 ・福祉タクシーは、東鉄タクシー等18事業所で実施。タクシーチケット利用実績7,304件(12月末現在) | | 福祉課 |
| | | | ・コミュニティバス(ききょうバス、自主運行バス諏訪線)、各地域内交通(バスタク、地域あいのりタクシー)における障がい者運賃割引制度等の継続 | 計画どおり | ・公共交通機関の障がい者割引の実施や利用方法について、ききょうバスや200円バス、バスタクそれぞれの時刻表により周知 ・障がい者手帳アプリ(ミライロID)の利用継続 | | 都市政策課 |
| | 2-4 | タクシー(福祉タクシーを含む)事業者との連携に取り組みます。 | ・地域あいのりタクシー導入支援 ・制度導入団体支援 ・導入検討団体へのPR ・補助金制度の見直し | 計画どおり | ・令和6年度で合計16団体導入済み ・導入団体から利用者増加を目的とした運行内容変更の相談に随時対応 | | 都市政策課 |
| | 2-5 | 高齢者、障がいのある方の外出を支援するための施策を検討します。 | ・地域福祉協議会とともに移動支援のあり方を検討 | 計画どおり | ・移動支援事業として自治会が主体となって実施している地域あいのりタクシーを、各地域社協の広報紙などで地域住民に向け紹介 | | 福祉課 |

総合的なバリアフリー化の推進に関する進行管理票

| 項目 | | 事業 | 具体的な取組み | 達成状況 | 令和6年度の実施状況 | 計画より遅れている場合の理由 | 担当課 |
|-----------------|-----|---|--|-------|--|----------------|--------|
| 3 こころのバリアフリー | 3-1 | 市民・事業者が障がいや障がい者への理解を深めるための啓発を行います。 | ・FMビビ等による障害者差別解消法等の啓発を実施 | 計画どおり | ・FMビビにてヘルプマーク・ヘルプカードや、障害者就労支援施設を紹介する「き」業展出展についてPR ・ぎふ清流おもいやり駐車場について、福祉課窓口や掲示でPR ・「き」業展にて障害者就労施設の紹介や製品の展示販売を実施 ・障害者就労施設の紹介冊子作成 ・バリアフリー展で、障がいに関わるパンフレットや冊子、インターネットサイトにつながるQRコード、市内障害者就労支援施設の紹介パネル、製品の展示を実施 | | 福祉課 |
| | 3-2 | 障がい者に対する市職員の理解を深めるため研修を実施します。 | ・障がい者に必要な手助けを行えるよう、接遇研修を通して職員の意識付けを行う ・新規採用職員研修にて、福祉体験研修を行う | 計画どおり | ・新規採用職員研修「障がい者への対応について」及び認知症サポーター養成講座・福祉体験研修を通じ、アイマスク着用し白杖使用体験を行う(10/10 受講者26名) | | 人事課 |
| | 3-3 | 障がい者団体との意見交換会を開催し、情報の共有を図ります。 | ・年1回の意見交換会を実施 | 計画どおり | ・12の障がい者団体等と8月～10月に意見交換会を実施 | | 福祉課 |
| | 3-4 | NPO法人、福祉関係事業者との意見交換会等を開催し、情報の共有を図ります。 | ・福祉事業者等との意見交換会を年1回以上実施 | 計画どおり | ・社会福祉協議会との調整会議において、現状や今後の課題等を協議するとともに、情報交換を実施(5月、10月、3月) ・地域自立支援協議会を開催し、関係機関間の情報共有、連携を推進(全体会:10月、3月／相談部会:5月、8月、2月) | | 福祉課 |
| | 3-5 | 福祉教育読本を利用して小学校・中学校で障がい教育を推進します。 | ・福祉教育読本の改訂 ・小・中学校への配布 | 計画どおり | ・市ホームページにpdfデータを掲載。学校等ではタブレットを利用して閲覧可能。 ・バリアフリー展では、冊子展示と市ホームページへのアクセスがしやすいようQRコードを掲示 | | 福祉課 |
| | | | ・小・中学校での福祉教育読本の利用促進のための周知 | 計画どおり | ・福祉教育読本を配付し、校長会等で内容や活用方法について周知 ・デジタル版の福祉教育読本を児童生徒が活用できるよう整備 ・特別支援コーディネーター研修会等で、活用方法や内容について周知 | | 教育研究所 |
| | 3-6 | 障がい児と園、小・中学校の園児・児童・生徒がイベント等で交流する場を設けます。 | ・中学生による幼稚園・保育園の職場体験や家庭科の授業を通して交流実施 ・発達支援センターへ市内保育園児が訪問し交流実施 | 計画どおり | ・幼稚園・保育園で中学2年生の職場体験、中学3年生と園児交流を実施 ・年長児が小学校を訪問、授業見学、交流を実施 ・児童発達支援センターわかば職員が脇之島小学校の授業訪問、作品展の観覧 ・児童発達支援センターわかばから市内保育園へ親子園外療育で来園 | | 子ども支援課 |
| | | | ・全小・中学校において、児童生徒の状態に応じ、通常学級との交流授業を実施 ・特別支援学級の児童生徒が育てた野菜などを、交流授業を実施している学級へ贈る。 ・「こころのとも運動」への協力 | 計画どおり | ・児童生徒の実態に応じ、通常学級との交流授業に参加 ・特別支援学級の児童・生徒の製作品などを、交流学級や全校に配布。 ・「こころのとも運動」に協力 | | 教育相談室 |
| | 3-7 | 特別支援学校と地域との連携を支援します。 | ・全小・中学校を対象にして、特別支援学校児童生徒の状態及び活動内容に応じ、居住地学校との交流を実施 | 計画どおり | ・ニーズに合わせてオンラインでの交流や直接交流を行った ・直接交流としては学校ごとに交流を行った ・今年度も多治見中学校区は規模を拡大して交流会をもつ予定(4校交流 1/28) | | 教育相談室 |
| | 3-8 | 保護者が療育や障がいに関して理解を深めるための講習会を開催します。 | ・発達障がいに対する理解を深めるための講演会を保護者等を対象に実施(年1回) | 計画どおり | ・年4回、在園児の保護者対象に、希望者を対象に子育て相談会を実施 ・4月下旬に年長児保護者に向け、就学に向けての学習会を実施(3回) | | 子ども支援課 |
| | 3-9 | おとどけセミナーや総合学習により福祉学習を進めます。 | ・おとどけセミナーのメニューの見直しを実施 | 計画どおり | ・各課へおとどけセミナーメニュー表の更新依頼(R7.1月) ・次年度用のおとどけセミナーメニュー表を作成(R7.3月) ・「福祉について考える」メニューを11講座用意(R7.1.21現在:4件実施・参加者55人) | | くらし人権課 |
| | | | ・総合的な学習の時間及び教科等において福祉教育を推進 | 計画どおり | 多くの小中学校において「総合的な学習の時間」や教科の学習で、講師を招聘して話を聞いたり、疑似体験学習を行ったりしている。その際、福祉教育読本等を活用している | | 教育研究所 |

総合的なバリアフリー化の推進に関する進行管理票

| 項目 | | 事業 | 具体的な取組み | 達成状況 | 令和6年度の実施状況 | 計画より遅れている場合の理由 | 担当課 |
|----------------|------|---|---|-------|---|----------------|---------|
| 4 情報のバリアフリー | 4-1 | 聴覚障がい者等の日常生活を支援する手話通訳者・要約筆記者の登録者の充実を図ります。 | ・手話奉仕員、要約筆記者養成講座の実施 ・手話通訳者、要約筆記者に対する学習会等を開催 | 計画どおり | ・手話通訳者派遣 89件 ・要約筆記者等派遣 24件 ・手話奉仕員養成講座〔入門〕16回 12名受講中 ・要約筆記研修会・学習会 対象2名 3回延べ5名参加 ・手話通訳研修会・学習会 対象6名 5回延べ18名参加 ・手話フォローアップ講座 対象13名13回延べ115名参加 ・手話レベルアップ講座 対象0名 0回延べ0名参加 ・聴覚障がいとコミュニケーション講座 5回 10名受講 ・一斉FAX 26件(25世帯) ・メール119登録者 12名 ・点訳1件(点訳支援事業)・音訳1件(声の広報等) (12月末現在) | | 福祉課 |
| | 4-2 | 手話、要約筆記、点訳、音声訳等を用いて、わかりやすい手段で情報を提供します。 | ・手話通訳者、要約筆記者等の派遣 ・点訳・音声訳の実施 | 計画どおり | 重複事項により4-1に記載 | | 福祉課 |
| | 4-3 | 視覚障がい者等の読書環境の整備を推進します。 | ・市内図書館等において、音声訳図書の設置を推進(障害者計画に記載) | 計画どおり | ・市内図書館の設置状況を調査、確認(本館設置済み、笠原分館及び子ども情報センターは本館と連携して取り寄せが可能)。継続して実施していく ・広報たじみ3月号にて、音声図書について記事を掲載(予定) | | 福祉課 |
| | 4-4 | 災害時や緊急時に障がい者への的確な情報の提供を行います。 | ・一斉FAXによる緊急情報送信 ・メール119による緊急時情報送受信 | 計画どおり | 重複事項により4-1に記載 | | 福祉課 |
| | 4-5 | 外国籍の子どもに対する学校生活支援及び学習支援の方策を検討します。 | ・外国籍児童生徒に対する日本語指導及び学習支援策の検討 | 計画どおり | 外国籍児童生徒に対する日本語指導及び学習支援の方法について外国籍等指導生徒相談員、学校と協議検討し、適切に支援員を配置 【支援員・相談員配置校】 ＜小学校12校＞ 養正小、精華小、昭和小、小泉小、池田小、市之倉小、滝呂小、南姫小、根本小、北栄小、脇之島小、笠原小 ＜中学校8校＞ 陶都中、多治見中、平和中、小泉中、南ヶ丘中、北陵中、南姫中、笠原中、 ※令和6年12月末現在 | | 教育推進課 |
| | 4-6 | 日本語による会話が十分でない外国籍の子どもに対し、学習サポーターを配置します。 | ・外国籍児童生徒に対する支援員の配置による日本語指導及び学習支援策の実施 | 計画どおり | 外国籍等児童生徒相談員(相談員)及び外国籍等児童生徒支援員(支援員)による迅速できめ細かな支援を行っている。相談員(1名)は、教員免許・日本語指導能力・母語支援能力を有する。支援員(8名)は、上記能力の少なくとも一つを有する。 【支援対象外国籍等児童生徒】 小学生31人、中学生15人 (ブラジル17人、フィリピン13人、中国6人、その他10人)※令和6年12月末現在 | | 教育推進課 |
| | 4-7 | 日本語による会話が十分でない外国籍の保護者に対し、ことばの支援を行います。 | ・日本語の会話能力が不十分な外国籍の方に対し、母国語または英語の通訳を介して言葉の支援等をはじめとした各種相談を受付 | 計画どおり | ・出入国在留管理庁の通訳支援事業による電話通訳を利用した窓口対応 ・ポータブル翻訳機を利用した窓口対応 ・メール・電話等による相談を随時受付 ・教育推進課による義務教育を受けている児童生徒の保護者の外国人支援との連携 | | 文化スポーツ課 |
| | 4-8 | 緊急時の情報提供手段を確保するとともに、市民向け防災マニュアルを作成し周知します。 | ・FMたじみ、広報たじみ、おとどけセミナー等、機会を捉えて自助共助の防災啓発を実施 ・緊急メールの登録、防災アプリの活用等、防災情報の取得手段についてのPR | 計画どおり | ・月1回FMたじみに出演し、防災啓発放送を実施 ・広報たじみ6月号で浸水害、9月号で地震に対する啓発特集、6月号で自主防災活動の促進を掲載 ・おとどけセミナー40回実施(参加者約2,370名)(令和6年12月末現在) ・第6回区長会にて、全町内会用の自主防災活動マニュアルの配布予定 | | 企画防災課 |
| | 4-9 | ひとり暮らしの高齢者に対して、緊急時に備えた専門装置を設置します。 | ・民生委員のみならず、地域包括支援センターやケアマネ等関係者と連携し、必要な世帯へ設置 | 計画どおり | 民生委員のみならず、地域包括支援センターやケアマネなど関係者と連携し、必要な対象者への緊急通報装置設置につなげた。(R6年度11月末現在、139台設置) | | 高齢福祉課 |
| | 4-10 | 非課税者のひとり暮らし高齢者で電話がない人に電話機を設置します。 | ・対象者に福祉電話を貸与することにより、社会環境からの孤立を防ぐと共に、安否確認及び緊急連絡の手段を確保 | 計画どおり | 貸与者は0人。社会環境からの孤立を防ぐと共に、安否確認及び緊急連絡の手段を確保した。(R6年11月現在) | | 高齢福祉課 |

総合的なバリアフリー化の推進に関する進行管理票

| 項目 | | 事業 | 具体的な取組み | 達成状況 | 令和6年度の実施状況 | 計画より遅れている場合の理由 | 担当課 |
|------------------|-----|---|--|-------|--|----------------|---------|
| 5 施策面でのバリアフリー | 5-1 | 聴覚障がい者等の日常生活を支援する手話通訳者・要約筆記者の登録者の充実を図ります。(再掲) | 4-1に記載 | 計画どおり | 重複事項により4-1に記載 | | 福祉課 |
| | 5-2 | 手話、要約筆記、点訳、音声訳等を用いて、わかりやすい手段で情報を提供します。(再掲) | 4-2に記載 | 計画どおり | 重複事項により4-2(4-1)に記載 | | 福祉課 |
| | 5-3 | 講座等生涯学習の場に参加しやすい環境を整えます。 | ・あらゆる市民への情報提供及び学習できる多彩なプログラムの開催 ・小・中学校へのアウトリーチ公演 ・福祉・児童施設への出張公演 ・託児サービスの導入 ・高校生以下料金の設定 | 計画どおり | ・BunBunねっと(4/1、7/1、10/1、1/1)、公民館だより(毎月)発行 ・学習館1階でだれもが気軽に楽しめる“ウェルカム1”を開催 ・イベントや文化事業において高校生以下等の料金を設定 ・小学校4校(11月末現在)へ出向き、本格的な演奏を届ける「出張文化ホール」を実施 | | 文化スポーツ課 |
| | | | 4-2に記載 | 計画どおり | 重複事項により4-2(4-1)に記載 | | 福祉課 |
| | 5-4 | 市の機関において障がい者の雇用を推進します。 | ・多治見市障害者活躍推進計画に基づき、市の機関において障がい者の雇用を推進 ・障がい者採用における法定雇用率 2.8% の遵守 ・採用計画立案時(3月)に障がい者枠採用(正規職員)の実施検討 ・会計年度任用職員(障がい者対象)の公募の定期的実施 | 計画どおり | ・正規職員の別枠での採用試験は実施せず ・R6.6.1報告の実雇用率は2.86%であり、法定雇用率及び目標率ともに上回った ・R6.7月以降に退職者が生じたため、会計年度任用職員(障がい者枠)の公募実施(試験実施2月、雇用2人程度予定) | | 人事課 |
| | 5-5 | 事業者の雇用促進を図るため、ハローワークと連携し、雇用率等の周知・啓発を行います。 | ・市のホームページ、広報紙等を活用し、雇用率等を周知・啓発 ・多治見で働くプロジェクトの運営支援、補助 | 計画どおり | ・多治見で働くプロジェクト(主催:多治見商工会議所、共催:多治見市)において、働くフェス(合同企業説明会)の運営、周知等をHP、広報誌にて実施(5/18、10/26開催) ・また、ハローワーク多治見管内合同企業説明会に関する記事を市広報紙に掲載し、ポスター、リーフレットを本庁舎、駅北庁舎及び市有施設に設置し、開催の周知を図った(※9/7開催、3/8開催予定) | | 産業観光課 |
| | 5-6 | ハローワークや産業観光課、就業・生活支援センターと連携し、障がい者の雇用を進めます。 | ・就労相談の強化 ・成年後見制度の利用促進 ・地域自立支援協議会の活性化 ・障がい者雇用募集先等の周知 | 計画どおり | ・相談支援事業を8事業所で実施 ・東濃成年後見センターに成年後見制度利用支援事業を委託(高齢福祉課と共同) ・地域自立支援協議会(全体会)を開催(10月、3月予定) ・「き」業展、バリアフリー展で障がい者就労、雇用に関するハローワークの資料を展示 | | 福祉課 |
| | 5-7 | 市が外部委託している事業の中で、障がい者施設に委託できる事業を選定、委託することで障がい者の就労意識を高め、民間事業者への啓発を図ります。 | ・委託可能事業を庁内で照会 ・委託可能事業等を取りまとめ、バリアフリー展等で紹介 ・市業務を障がい者が働く場所として提供 ・障害者優先調達推進法に基づく調達方針の策定及び調達実績の集計並びにそれらの公表 | 計画どおり | ・障害者優先調達推進法に基づく調達方針を策定(R5年度調達実績1,232万円(目標965万円)。R6年度調達目標1,060万円。昨年度比100万円増) ・バリアフリー展で、市内障害者就労施設の紹介パネル、製品の展示を実施。 ・「き」業展にて障害者就労施設の紹介や商品展示販売を実施 ・産業観光課主催の「企業お見合い」会場で、障害者就労施設業務紹介スペース設置 | | 福祉課 |
| | 5-8 | 障がい者がプールを利用できるように、プールの開放を行います。 | ・学校でのプール開放及び障がいのある方への利用促進 | 計画どおり | 民間事業所(㈱コパン)との連携事業として、民間プール一般開放「COPIN de プール」を実施。 令和5年7月から毎月第2(多治見店)・第4日曜日(多治見南店)のコースの一部を利用 ・利用者計1458人(R6.11現在) ・障がい者利用にも対応可(利用実績なし) | | 文化スポーツ課 |